（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	リリィエイト　ナーサリー			
○保護者評価実施期間	2025年11月21日	～	2025年11月30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	21	（回答者数）	15
○従業者評価実施期間	2025年12月8日	～	2025年12月12日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが安心して通所できる環境・支援体制	こどもが見通しを持って安心して過ごせるよう、絵カード等の視覚教材を活用した環境構成を行うとともに、十分な職員配置のもと、一人ひとりの様子に応じた丁寧な関わりを心がけている。	引き続き安全で安心できる環境づくりに努めるとともに、こどもの変化や不安のサインを職員間で共有し、よりきめ細かな支援につなげていく。
2	五領域を意識した、机上・運動・個別支援を組み合わせた支援」	五領域を意識し、机上活動・運動活動・個別支援を組み合わせた活動プログラムを毎日実施している。 活動内容が固定化しないよう、日々プログラムを見直し、こどもの発達段階や特性に応じた支援を行っている。	今後も五領域の視点を継続して取り入れながら、活動内容の幅を広げ、より個々の成長や課題に即したプログラムの充実を図っていく。
3	職員間の連携と日常的な振り返り	支援開始前に職員間で打合せや振り返りを行い、こどもの様子や支援の工夫点を共有している。 振り返りで話し合った内容は、児童一人ひとりの個人ノートに記載し、シフト休等で不在の職員がいても情報共有ができるよう工夫している。これらの日々の記録を通じて、支援内容の検証と改善につなげている。	今後は、振り返りで共有した内容を定期的に整理し、共通認識として職員間で確認する機会を設けることで、支援の質のさらなる向上を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域連携・関係機関との連携の弱さ	保育所や認定こども園等との直接的な交流は、日程調整や受入体制の面から現実的に難しい状況にあり、地域や関係機関との連携機会が限られていることが要因である。	保育所等との直接交流に代わり、公園や児童館など地域資源を活用した外出活動を継続するとともに、関係機関との情報共有や連絡体制の構築について、段階的に検討していく。
2	保育所等訪問支援の認知不足	保育所等訪問支援について、保護者や関係機関への情報発信の機会が十分ではなく、制度や支援内容に対する認知が低い状況となっている。	保育所等訪問支援の内容や目的について、保護者や関係機関へ分かりやすく伝える機会を設け、周知・認知の強化を図っていく。
3	家族支援（保護者会・ペアレントトレーニング等）	日常的な個別対応は行っているものの、保護者同士の交流や家族向け研修等については、計画的な実施まで至っていないことが要因である。	来年度以降、保護者会や参観、家族向けの情報提供等を段階的に実施し、家族支援の充実を図っていく。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	リリィエイト　ナーサリー

公表日　2025年　12月　15日

利用児童数　21　回収数　15

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15				いろいろ工夫されてます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14			1	保育園に比べて沢山いてくださるので安心です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13			2		子どもが見通しを持って安心して過ごせるよう、絵カード等の視覚教材を活用した環境構成に取り組んでいます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14			1	可愛くて綺麗なお部屋です。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	2		1	その子に合わせ個別でもみてくれるので有難い。	保護者からの希望で個別支援も行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	14	1				1年たったので見直しをします。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	2				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	2				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14		1			活動は毎日２つ行っています。 １つ目は主に机上で五領域に基づいた活動、２つ目は運動です。机上活動は毎日プログラムを変えています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	3	4	お散歩や市役所に図書館いろいろ連れて行ってくれます。 数が少ない。	今後も定期的に外出の機会を作っていきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	5	5	1		来年度、保護者参観を実施予定です。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	5	3		来年度、保護者参観を実施予定です。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1		1		

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	1		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1	1	1	幼稚園を間違えた時があった。	以後そのようなことのないよう、指導員間でルールの徹底をしました。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			2		避難訓練は毎月行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	13			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	15					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15				毎回とても楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				先生方の名前がわからないので、送迎時だけでも名札をつけてもらえると有り難い。	年始に職員一覧表を配布します。 送迎時、スタッフカードの着用を徹底します。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	リリィエイト　ナーサリー

公表日 2025年12月15日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		訓練室、事務室は職員が自発的に清掃や整頓を行っているため、危険も少ない空間になっている。最近玄関や事務室のロックを開けてしまう児童がいるため、改善や工夫が必要と感じる。	玄関および事務室のロック解除方法について、セキュリティ強化の観点から、現行よりも複雑化する方向で検討を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		今年度行う予定。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		完全に「はい」ではないが、機会があれば行っている。また外部研修にも今後参加していきたい。	事業所が直面する課題は時期によって変化するため、その時点での「今の課題」に即した研修を、月末1回などあらかじめ定めた日に実施する工夫を行いたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	5			再度見直し予定。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		毎日の朝礼では児童の行動特性など共有し、児童個人のノートに記入している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	2	「移行支援」「地域支援・地域連携」については記入できていない 児童もいたため、１１月から内容を訂正し、作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	障害児相談支援事業所経由での利用児童がいない	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	まだ関係機関との連携は出来ていない。	保育所等訪問支援についての認知が十分でないため、今後さらに周知・認知の強化を図っていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	園との連携を図っているが、支援計画の共有や、支援内容の相互理解は行えていないため、必要に応じて行う必要がある	関係機関連絡票の希望シートは作成済みである。 小学校就学にあたり、年長児を対象に保護者へ希望の聞き取りを行う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	0	5	支援センターが無いため行っていない 市内に支援センターがない	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		保育所等との直接的な交流は現状では難しい状況にあるが、公園や児童館へ出向く機会を設け、地域の子どもと関わる機会を確保している。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		来年度行う予定。
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	来年度は保護者会や、交流会など行っても良いかと思う	来年度行う予定。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		今後、検討。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	マニュアルや研修に偏りがあり、全ては出来ていない。均等に行っていく必要がある。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		避難訓練は行っているが、職員への共有や、共通認識は薄い場面もあるので、情報は全員に周知する必要がある	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		児童の確認は保護者を通して行っているが、その状態になった児童をどのように手当てするのかの共通ができていない	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		基本保護者の意向に従っている。必要であれば医師からの情報を共有してもらっている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		作成はしているが、内容が伴っていないことあり	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	3	2	全て周知は出来ていない。 職員の中でも全部は周知できていない。	安全計画に基づく取組内容について、文書配布の機会を設け、より理解が深まるよう工夫していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			